

価格は税込み



理工図書
2090円

農業と食で新たな事業に挑む女性たちを各地にたずねたルポです。

ニッポンはおいしい!
金丸弘美著

たとえば有機野菜の朝市を名古屋の繁華街で20年間運営してきた吉野隆子さん。多くの新規就農者も育て、農林水産祭の内閣総理大臣賞も受賞しています。静岡県菊川市でゼロからレタス栽培を始め、30畝の大規模農家になった塚本佳子さん。都市部の生産緑地の借地による新規就農第1号の東京都日野市の梅村桂さんなど。楽しく農業を語る12人は、農業は男性というイメージを打ち壊します。

本立て



新日本出版社
2420円

「資産運用立国」の深層
アメリカの金融覇権とくらしの危機
山田博文著
アベノミクスの異次元金融緩和による異次元リスクが、ついに国民生活

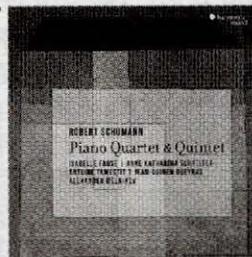
襲い始めた。禁じ手を使って「進むも地獄、退くも地獄」という事態を自ら招いた政府は無策。本書はこのリスクの特徴を解明し解決策を探ります。「物価の番人」なのに物価高で苦しむ家計を救えない日銀。長期の経済低迷の中で株高。「貯蓄から投資へ」と誘う政府。その背景にはアメリカを中心とする巨大金融資本によるグローバル市場支配があります。外資に支配された日本経済の実態に迫ります。

NEW TALKS

伊熊よし子の1枚 クラシック

演奏家は、室内楽の分野で人間性と音楽性の両方が合う仲間を見つけ、ともに演奏するのが大きな楽しみだという。シューマンのピアノ四重奏曲、ピアノ五重奏曲は、その意味で息がぴたりと合う演奏家が集まらないと、作品の偉大さが伝わらない難しい作品である。

ヴァイオリンのファウストとシュライバー、ヴィオラのタメステイ、チェロのケラス、ピアノのメルニコフというまさに現代を代表する名手が勢ぞろいしたこの録音は、各人が1600~1800年代に制作された楽器を用い、シューマンの魂に近づくような奥深く文学的で歌心にあふれたアンサンブルを繰り広げている。哀愁、劇的、悲哀、憧憬(しょうけい)など多種多様



な感情が込められた作品を古雅な響きの弦楽器とピアノ(プレイエル製)で奏されると、えもいわれぬ芳醇(ほうじゅん)な薫りが立

ち上る。冒頭から緊迫感あふれるアンサンブルに脳が覚醒する思いだ。

「シューマン：ピアノ四重奏&五重奏」/イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)、アンネ・カタリーナ・シュライバー(ヴァイオリン)、アントワン・タメステイ(ヴィオラ)、ジャン＝ギャン・ケラス(チェロ)、アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)/キングインターナショナル/KKC-6776/税込み3500円
(器楽、室内楽、オペラ、声楽、バレエから選定)